

品川第一地区まつり

8月11日(日)、品川第一地区まつり実行委員会は、台場小学校で「品川第一地区まつり」を開催しました。

この日は朝から気温が30度を超え、日中は37度を超えるほどの今年一番の猛暑となりました。まつりは午後1時から8時30分まで通して開催し、それぞれの時間ごとに楽しいアトラクションがいっぱいです。

特に、台場小の校庭をぐるりと一周するミニミニSLが2年ぶりに復活し、大盛況となりました。SLに乗った子供たちは笑顔で家族に手を振り、最後に蒸気の煙が上がる、驚きながらも大はしゃぎしていました。

体育館では子どもコーナーを開設。バッテリーゴルフやストラックアウト、プラ板作り体験など、子どもたちが楽しめる様々な催しにたくさんの方が訪れました。フェイスペインティングやネイルアートのコーナーも好評で、ほったや爪をきれいに飾った子供たちが、会場中のアトラクション



▲ミニSLを楽しむ子供たち



▲お盆期間中という暑い中、それ以上に熱い踊りで会場を盛り上げてくれた台場ソーランのみなさん

を楽しそうに回っていました。

校庭では、東品川児童センターのダンスやバンドグループのパフォーマンス、品川学園吹奏楽部による見事な演奏、台場小学校の児童が躍る力強い台場ソーランなどが披露されると、観客から盛大な拍手が送られました。

校庭には、町会・自治会などのたくさんのお店が軒を連ねていて、焼きそばややきとりなどを販売していました。この日はとても暑かったこともあってか、かき氷やジュースが飛ぶように売れていました。

また、今年は、中高生のボランティア団体「役立ち隊」が、水遊びのブースを設けてくれました。ぶら下げたトイレットペーパーを、いろいろな種類の水鉄砲で撃ち落とすという暑い夏にぴったりの水遊びに、子供たちは夢中になって楽しんでいました。

途中、遠くの空で雷が鳴り、雨雲が立ち込め、だんだんと小雨が降る天気となって、あわや中止か

▼天恵の雨で涼くなった夕方、提灯で飾られた舞台の周りで盆踊りを楽しみました



と思われましたが、まつりを愛する皆さんの祈りが通じたのか、やがて雨は止み、まつりは続行されました。そして、雨が降ったおかげで大分気温も下がり、盆踊りにうってつけの状況になりました。盆踊りに先立ち行われた式典では、品川第一地区町会自治会連合会の荒井宏師会長(八ツ山町会)が「本当に暑い一日となりましたが、最後まで楽しんでください」とあいさつ。会場に駆け付けた演野区長も、「夏の暑さを吹き飛ばすのは、皆さんの熱気です。この熱を、どうか地域の絆づくりのための力としてください」と、会場を訪れたみなさんに語りかけました。

夕方からは、皆さんお待ちかねの盆踊りがスタート。勇ましい太鼓の音に合わせて、優雅な盆踊りが地区まつりのフィナーレを飾りました。

品川第一地区まつりの開催にご尽力いただいた、町会・自治会、地区委員会、PTAなど各関係団体の皆さま、ご協力ありがとうございました。

～天王洲運河～ 水難救助合同訓練

6月11日(火)、天王洲運河で品川区、品川・高輪・東京湾岸警察署、機動隊、さらに災害協定を結んでいる民間企業が参加して合同の水難救助訓練を実施しました。

訓練は、最大震度7の地震が発生し、天王洲アイルに

架かる全ての橋が崩落し、東京湾岸に津波が到達したという想定で行われました。

天王洲アイルに取り残された被災者を、災害時の協定を締結している船宿の船舶と、区の災害時用のボート2隻が、天王洲アイルとの間を往復し、取り残された人を搬送しました。

また、救命ロープを射出し、機動隊の水上バイクで運河を漂流する被災者を救助する訓練も行われました。



今回の訓練では、実際に被災者が発生した場合の水難救助の流れや手順、関係機関との連携などについて再確認する良い機会となりました。

視察した演野区長は、「品川区は首都直下型地震が発生した場合、2.61メートルの津波が到達するといわれている。これからも関係機関との連携を深め、有事に備えていきたい」と、日ごろの備えの重要性を述べました。



平成25年度
品川第一地区
総合防災訓練 開催

日程:10月13日(日)
会場:品川学園 校庭
《雨天中止》

(注) 集合場所と時間は各町会・自治会の掲示版でご確認ください